



題字 藤本利夫書

〈1988年7月9日創刊〉  
 発行2019年10月1日 〈毎月1日発行〉  
**滋賀県民主教育研究所**  
 〒520-0052大津市朝日が丘1丁目  
 11-3 教育文化会館2F  
 TEL & FAX 077-525-5364  
 教育110番 077-523-3715  
 eメール shiga.minken@gmail.com  
 HP: http://shiga-minken.jimdo.com/  
 振替口座番号(会費振込にご利用ください)  
 ①ゆうちょ銀行/記号番号01070-5-40576  
 ②滋賀銀行本店営業部/普通口座511256  
 加入者(口座)名 滋賀県民主教育研究所

## 疲弊する学校、今こそあたたかい人間同士のつながりを

全滋賀教職員組合書記次長 高岡光浩

四月から全滋賀教組の専従役員に

なりました。様々な仕事があるわけ

ですが、今年とくに目立つのが現場

の先生方からの相談です。私が受け

ただけでも相当数あります。その中

には、簡単な説明で終わることもあ

れば、この仕事を辞めようかという

深刻なケースもあります。組合員だ

けでなく、組合員以外の方からも相

談があります。相談するところもな

く、薫にもするようない思いで電話

をしておられることは話の中から伝

わってきます。担任している子ども

や保護者との関係がうまくいかな

なった、同僚との関係が悪化したな

ど様々なケースがあります。子ども

や保護者との関係がこじれるとな

かなか解決の糸口が見いだせず、長

期化しがちです。それでも職場のサ

ポートがあれば、時間がかかっても

乗り越えていく可能性はあります。と

ころが、その職員間が信頼関係で結

問題を抱え込んでいくこととなり一層追

い込まれていきます。職員同士のつ

ながりが、困難に直面した教師を支

えていく力の源泉だとつくづく思

えました。そんな大切な職員間の

関係が、実はごく小さなことから崩

れていくことも相談事例から見えて

きます。生徒指導についての考え

方の違い、日々の役割分担について

の不公平感、自らの頑張りや認め

てもらえない苛立ち等々。考えの違

いがあることも、話し合えば一致

点を見いだすことはできます。し

かし、多忙な日々の中で自分の

仕事に手一杯の状態では、ゆっ

くり話をすることもできません。

長時間労働が野放しにされて

いることが、職員間の関係づく

りを難しくしている大きな要因と

言えるでしょう。長時間労働解

消には先生を増やす以外に方法ありませ

ん。ところが、現政権は教職員定

先生は少なくありません。せめてその職場に同僚の様子を気にかけてくれる人がいれば、あるいは一人でも話を聞いてくれる人がいれば、状況はまた異なっていたのではないでしようか。誰もが仕事に追われ、疲弊しています。まずは、その悩みや困っていることを語り合い、同じように悩んでいる人の存在に気づき、つながることです。語りあうことで、問題が明らかになったり、解決の糸口が見えてくることもあるはず。長時間労働で余裕がない状況ではありますが、互いに支え合う関係を学校の中に広げていきたいと心から思います。

### 《 今月の紙面 》

- ・疲弊する学校、今こそあたたかい人間同士のつながりを／高岡 光浩 …P1
- ・「息苦しさ」「善隣友好の精神」で突破しよう！／福井 雅英 …P2, 3
- ・「出逢いという奇跡」～近江兄弟社高校演劇部のドラマ  
／丸山はるか・長谷川友彦 …P4, 5
- ・児童書「守山昔ばなし」の刊行にあたって／奥村 信夫 …P6, 7
- ・滋賀の教育動向 7・8月 …P8